



白亜の姫路城を背景に
集合写真を1枚パチリ

久しぶりに再会した仲間と
思い出昔話に花が咲く



灘菊酒造の説明員から酒造りの
説明を受ける。



酒桶の蓋をテーブルにした上で
楽しい昼食会の様子



趣のある昔の酒蔵を改装した
食事処で麹発酵食品の昼食に舌鼓



地元シルバー観光ガイドさんから
大改修の裏話などを聞いた



発酵時の温度調整用の樽桶の説明をうけた。日本酒の試飲はまだかな？



酒蔵ならではの自家製の美味しいものを堪能しました。



4つのグループに分かれて城内を隅々まで見学した。昔の建造技術と知恵に感嘆した。

＜支部企画行事＞ バス旅行(姫路城方面) 2016.11.14

滋賀支部バス旅行は、隔年毎に開催している。今年度は平成の大改修を終えた世界文化遺産の国宝「姫路城」を訪ねる旅となった。参加者募集締め切り当初は78名であったが、開催日までにご本人やご家族の方が風邪や怪我などで参加出来なくなり残念でしたが、最終の参加者は65名となった。

車窓から紅葉する景色とバスガイドさんの路線案内に耳を傾け、久しぶりに再会した仲間との昔話に花が咲きアルコールも入り車内は賑やかであった。

姫路市内にある明治43年創業、手づくり日本酒の蔵元「灘菊酒造」を訪問してゆっくり歩きながら趣のある酒蔵見学と試飲を楽しんだ。昼食は酒蔵をそのまま利用した高い天井、太い梁、酒桶のふたを利用したテーブルで昔の酒蔵の雰囲気の中で「酒蔵の膳」を味わった。姫路城城主 羽柴秀吉天下取りへの快挙「中国大返し」に因み、出し汁から自家製手作り、塩麴、酒漬けなどの発酵食品を活かした酒蔵ならではの昼食を味わった。直売所では米麴から造った「甘酒」、各種の日本酒、アルコール度数36度の日本酒リキュールの試飲など楽しみ、各自お土産等を買求めた。

昼食後、今回のメインテーマである姫路城の見学を行った。平成の大改修を終えたところで、白漆喰で仕上げた「白鷺城」が威風堂々とそびえる見ごたえのある見学であった。今回は、地元のシルバー観光ガイドさん4名をお願いして改修時の裏話、姫路城の歴史、城の構造、見どころ、世界遺産としての歴史の刻みと姫路城にまつわる話を直接に聞くことが出来て現存する4つの国宝の城(彦根、松本、松江、姫路)の1つを2時間に渡り見学することが出来た。白亜の要塞としての戦いへの知恵を集めた昔の知恵と工夫に驚き、木造地下1階地上6階構造の急階段を老体で昇り降りして日頃の運動不足を実感することが出来た大変有意義な1日であった。